

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1		スペースに合わせて、プログラム設定を行っております。
	2	職員の配置数は適切であるか	7			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7			本人に分かりやすいものになっているか、毎月見直ししています。建物がバリアフリー化されています。療育で使用しない物品等は、視覚的に見えないように工夫し構造化しています。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7			ミーティングや検討会等で、疑問や課題を出し合い、話し合いを行っております。また、毎年運営方針をたて、方針に沿った運営を行い、年度末に振り返りをしています。月に1度、病院の発達外来とともに運営会を開催し、課題や現状について話し合いを行っております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			保護者の方からご要望がありました連絡体制について、令和5年度よりLINEWORKSを活用し家庭連携体制の充実を図りました。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行い、支援の質の評価及び改善について検討しております。結果はホームページでも公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7			第三者による外部評価は行っておりませんが、外部の特任講師を2名、定期的にお越しいただき、評価や助言をしていただいております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			定期的に内外の研修会に参加し、自己研鑽に繋げています。
適切 な 支 援 の 提	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			もみのきっずのアセスメントに加え、もみのき病院の検査結果や医師のアドレスを踏まえて支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			いくつかのアセスメントツールを活用しております。また、もみのきっず独自で作成したアセスメントツールも活用し、お子さんの状況や成長を確認しております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			職員全員で活動プログラムの検討、立案をしています。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士がそれぞれの専門分野の評価を行い、活動プログラムを検討しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			お子さんの個別支援計画に沿って、お子さんと一緒に計画をしたり、提案を行っております。外出プログラムは、必要性や目的に応じて、個別で行っております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			

供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			多職種で声をかけ合いながら支援内容を確認し実践しています。主担当とプロンプトとの間で打ち合わせを行い、実践しております。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1		専門的な視点から振り返りを行い、気付いた点等を共有し、次のプログラムに反映させています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	1			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか					
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	1	2		もみのきっずでは児童クラブ等との交流は行っておりませんが、もみのきっずがある施設（鳥越カフェ）は、地域の方々の交流の場となっており、子ども食堂など月2回ほど開催しています。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	3	2		参加したことがある。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7				
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7				療育時、支援方法について具体的に説明を行っています。本年度、保護者向けの学習会の開催を行いました。来年度も継続して行っていく予定です。	
保護	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7				本年度、保護者向けの学習会と交流会を開催しました。来年度も継続して行っていく予定です。

者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			
	35	個人情報に十分注意しているか	7			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	1		鳥越カフェでは月2回子ども食堂を開催しております。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			仕組みはあるが、現在該当者なし 該当なし1
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			